

北イタリアの名門歌劇場が3年ぶり2度目の来日。

ベルガモ・ドニゼッティ劇場

Teatro Donizetti di Bergamo



ソプラノ: マリエッタ・デヴィアー

名アリアの宝庫。ヴェルディの最高傑作を豪華キャストで聴く。

ヴェルディ

椿姫

G. Verdi



指揮: ブルーノ・チンクエグラニ 演出: パオロ・パニッツァ 舞台: イタロ・グラッシ
ベルガモ・ドニゼッティ劇場管弦楽団 / 合唱団

全3幕 [イタリア語上演・日本語字幕]

2010 **1/16** (土) PM5:00開演 **愛知県芸術劇場大ホール**

S¥25,000 A¥20,000 B¥16,000 C¥10,000 D¥7,000 学生¥3,000 (税込)

主催: 中京テレビ放送 企画・運営: 中京テレビ事業

お問い合わせお申込み **中京テレビ事業 ☎052-957-3333**

〒460-8613 名古屋市中区錦3-15-15 CTV錦ビル6F (旧有楽河合ビル) (月~金 AM9:30~PM5:30/土・日・祝日休業)

学生券
ご希望の方は往復ハガキに、希望公演名、公演日時、住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学籍番号を明記の上、中京テレビ事業「学生券」係までお申込みください。公演の3週間前に抽選の上、お席をお取りできるか否かご連絡致します。往復ハガキ1枚につき、1公演1名様をお願い致します。

※出演者等変更になる場合がございます。予めご了承ください。※未就学児童のご入場はご同伴の場合でもお断り致します。

<http://cte.jp> ★インターネットからもお申込み頂けます!★

チケットぴあ (コープ: 321-034) 0570-02-9999 イープラス eplus.jp
愛知芸術文化センター-PG 052-972-0430 ローソンチケット (ロード: 145285) 0570-084-004
栄フレチケ92 (E三越PG) 052-953-0777 中野サービスセンター (中野ビル1F) 052-263-7282 他

Teatro Donizetti di Bergamo

ベルガモ・ドニゼッティ劇場

2007年1月に待望の初来日を果たし、《アンナ・ボレーナ》《ランメルモールのルチア》の2作品を上演した北イタリアの名門ベルガモ・ドニゼッティ劇場。この街が生んだ大作曲家・ドニゼッティゆかりの劇場公演は「ドニゼッティの真の姿が見えた」「小さな街の劇場でありながら、レベルは国際的」と大好評で迎えられました。あれから3年、2010年1月に待望の再来日が実現します。今回はヴェルディの代表作、そして「古今のオペラの中の超人気作品」である《椿姫》というオペラ・ファン待望の演目。2009年10月に現地初演のニュープロダクションでの上演に期待が高まります。2010年新春を飾るにふさわしい必見オペラ。この機会をお見逃しなく!

ヴェルディ「椿姫」

G. Verdi "La Traviata"

指揮：ブルーノ・チンクエグラニ
演出：パオロ・パニッツァ
舞台：イタロ・グラッシ
ベルガモ・ドニゼッティ劇場管弦楽団 合唱団



ブルーノ・チンクエグラニ (指揮者)
Bruno Cinquegrani (Conductor)



マリエッラ・デヴィア (ヴィオレッタ)
Mariella Devia (Violetta Valery)



アントニオ・ガンディア (アルフレード)
Antonio Gandia (Alfredo Germont)



ルーカ・サルシ (ジェルモン)
Luca Salsi (Giorgio Germont)

1999年アスペン音楽祭にてフェロシップを得てデヴィット・ジンマンに師事。その後研さんを重ねながら、英国ロイヤル・オペラ《リゴレット》でマウリツィオ・ベニーニのアシスタントを、パリ・オペラ座《シモン・ボッカネグラ》でジェームズ・コンロンのアシスタントを務める。08年にはアスペン音楽祭《チェネレントラ》、ベルガモ・ドニゼッティ劇場《マリーノ・ファリエロ》をそれぞれ指揮し成功を収めた。オーケストラの指揮も多く、今後の活躍が注目されている。

イタリアの伝統を継承する当代随一のベルカント・ソプラノ。驚異的な幅広いレパートリーを持ち、その完璧なテクニックと豊かな表現力で聴衆を魅了し続けている。ミラノ・スカラ座だけでも《ランメルモールのルチア》《カプリエティとモンテッキ》《テンダのペアトリーチェ》《連隊の娘》《イタリアのトルコ人》《愛の妙薬》《マリア・シュトゥアルダ》で主演を重ねており、2008年はホセ・プロストとブルゾンとの共演で《椿姫》に出演した。世界中のオペラハウスからオファーが絶えない希代のディーヴァの登場が実現する。

2000年にマドリード王立劇場《ばらの騎士》でデビュー。04年のフランシスコ・ヴィニャス国際コンクールで優勝、ブラジド・ドミンゴ賞を獲得。05年にはポローニャ歌劇場カンパネッラ指揮《椿姫》アルフレード役、ガッティ指揮《夢遊病の娘》エルウィーノ役、サン・カルロ歌劇場《愛の妙薬》ネモリーノ役と立て続けに出演。06年には《ランメルモールのルチア》エドガルド役でスカラ座デビューを果たし好評を博した。今後もフィレンツェ歌劇場《ルチア》、ポローニャ歌劇場《リゴレット》などに出演予定。

2000年ヴィオッティ国際音楽コンクール優勝。その後メトロポリタン歌劇場《蝶々夫人》シャープレス役、ポローニャ歌劇場《セビリアの理髪師》フィガロ役で次々と登場し好評を博した。08年はミラノ・スカラ座およびフィレンツェ歌劇場《ラ・ボエーム》マルチェッロ役、ヴェローナ音楽祭《アッティラ》エツィオ役などに登場し大成功を収めている。今後もサン・カルロ歌劇場《椿姫》、フィレンツェ歌劇場《道化師》、トリノ王立歌劇場《蝶々夫人》、メトロポリタン歌劇場《ラ・ボエーム》などに出演予定。



【予定されるキャスト】

ヴィオレッタ	マリエッラ・デヴィア
アルフレード	アントニオ・ガンディア / ロベルト・イウリアーノ / イヴァン・マグリ
ジェルモン	ルーカ・サルシ ほか
フロラ	アンナリーザ・カルボナーラ
アンニーナ	ガブリエッラ・ロカテッリ・セリオ
ガストーネ子爵	パオロ・アントニエッティ
ドゥッフォール男爵	レオナルド・ガリアッツィ
ダビニー侯爵	ダリオ・ジョルジエ
医師グランヴィル	エンリーコ・マルケジーニ

※上記キャストは2009年3月現在のものです。正式なキャストは当日発表とさせていただきます。

—— 200余年の歴史を称える北イタリアの名門劇場 ——

ドニゼッティ(1797-1848)生誕の地ベルガモはミラノの東方約50キロ、文化的薫りを色濃くたたえる古都で、ドビュッシーの『ベルガマスク組曲』ゆかりの地でもあります。オペラ座の創設は1791年と古く、当初リッカルディ劇場と名づけられましたが1897年にドニゼッティの生誕100年を記念してドニゼッティ劇場と改称されました。第二次世界大戦を経て、劇場は数年間閉鎖をして大きな改修工事を行い、1964年に再オープン。レナータ・スコット主演による《ランメルモールのルチア》が華々しく上演されました。

92年には「ドニゼッティとその時代」というフェスティバルが生まれ、彼の作品と、彼の時代に関わる作品、話題の紹介をするという趣旨で、数多くの重要な公演が行われてきました。ベルガモ・ドニゼッティ劇場では、常に真の意味でドニゼッティのスタイルを理解した上演を目指し、同時にその他の作曲家の作品にも積極的に取り組み、オペラ史上価値ある活動をしてきたイタリア政府公認の「伝統劇場」として取り組みを続けています。